

アンゴラ経済概要（5月）

本月報は当館が報道等公開情報¹より取りまとめたものです

石油・LNG

- ・ アンゴラの石油輸出量は、5月に日量183万バレル（58カーゴ）の最高値を記録したものの、6月は日量163万バレル（51カーゴ）まで落ち込む見込み（5/10 BB）。
- ・ トタル社は、ENI社がオペレーターを勤める第15/06区の利権の15%をソナンゴル社に販売交渉中。同区から原油生産はまだ行われていないが、昨年月上旬より開発を開始（5/28 BB）。
- ・ ソナンゴルPP社は、マヌエル・ヴィセンテ副大統領の企業Nazaki Oil & Gas社が有する第21/09区の15%を購入予定（5/29 BB）。
- ・ Galp Energia社は今年アンゴラが実施する競売に入札予定（5/24 EX）。
- ・ スイスの電力トランスミッション企業であるEltel Networks社は、10月に、ロビトの工事中の精油所に対し、カンバンベダムから250kmのラインを敷く予定（5/16 2013）。
- ・ ソナンゴル社は、19億ユーロの5年債を発効する予定（5/25 Sol）。
- ・ アンゴラLNGは、本年第二四半期中に初の輸出が可能と石油大臣が発表（5/17 Sol）。本プロジェクトは2012年初旬に輸出開始予定で、何度も延期している。
- ・ アンゴラ石油大臣は、ヒューストンで開催された第5回ギニア湾エネルギーフォーラムに出席。今回のテーマはアンゴラの石油・ガス産業の機会とし、アンゴラ企業と米国企業の交渉の場となった（5/7 JA）。

鉱物資源

- ・ 地質鉱山大臣は、日本で開催された鉱物資源に関する閣僚級会合に出席（5/23 SE）。
- ・ ロビト市のセメント工場Secil Lobitoは、120万トンの生産能力を有する工場に対し、180億クワンザを投資（5/3 EX）。
- ・ ブラジルのセメント会社Cimenfortは、7000万ドルを投資し、カビンダおよびナミベ州にセメント工場を開設する予定（5/23 SE）。

財政・マクロ経済

- ・ ドス・サントス大統領は、新財務大臣にアルマンド・マヌエル（Armando Manuel）（前大統領経済担当補佐官）、新建設大臣にヴァルデマール・ピレス・アレシャンドレ（Waldemar Pires Alexandre）を任命（5/7 JA）。
- ・ 2014年度国家予算策定において、歳出の効率性・効果の基準を改善することを目的として、新たな手法を採用（5/16 SE）。
- ・ 税制改革に関するセミナーが開催。効果的な税制システムは、経済・地域間の格差を縮小し、雇用創出に繋がる点多くの専門家は指摘（5/16 SE）。

¹ 参考:JA(ジョルナル・デ・アンゴラ), Ex(エスパンサン), BB(ブルームバーグ), JE(ジョルナル・デ・エコノミア), オ・パイス(OP), アンゴップ(AP), SA(セマナリオ・エコノミコ), Ah(アンゴラハブ), アンゴラ・ノティシア(AN)ラジオ・ナショナル・デ・アンゴラ(RNA)

国際機関

- ・ Fitch は、モザンビークは歳入の問題から格付けを上げにくい国と評する一方、アンゴラを最もダイナミックな格付けを持つ国であり、肯定的な見通しを持つと評価。成長のポテンシャルを持ち、1人当たりの所得も比較的高く、財政も健全で、利率も低いですが、格付け向上のためには経済の多様化が必要と言及（5/28 JA）。
- ・ African Economic Outlook2013 は、2013年の経済成長率 8.2%、2014年は 7.8%を予測するが、市民の生活を改善し、石油依存から脱却するためには、大きな課題が残っていると分析（5/27 Sol）。

金融・銀行

- ・ 政府は、商業銀行・投資銀行設立に係る最低資本金の額を約 2500 万ドルに制定（5/10 JA）。
- ・ イギリスのスタンダード・チャータード銀行は、アンゴラの銀行ライセンス取得を申請。同様にモザンビークでも申請を行う（5/10 BB）。BNA は新たな商業銀行開設にかかる申請を数件を受理した旨報道（5/30 SE）。
- ・ ソル銀行は、支店拡大、国際化等により 2013 年は成長を見込み、33 億クワンザの利益となる見通し（5/17 EX）。
- ・ 5 大銀行全体で、33.1%の減益。個別では、BESA(78.2%)、BPC(42.1%)、BAI(15%)、BFA(11.8%)が減益し、BIC が 7.4%の増益（5/10 EX）。
- ・ 中央銀行は、個人による海外送金に対し新たなプロセスを設定。クワンザに限定し、1ヶ月に 50 万クワンザ、1年に 200 万クワンザを上限とする（5/24 JA）。
- ・ アンゴラ政府は本年、20 億ドルの公債を発行する可能性がある旨報道（5/24 JE）。
- ・ CMC(資本市場委員会)は、遅くとも 2016 年までに証券取引所を設立する戦略計画を表明（5/23 AN）。また 2013 年中に有価証券等の流通市場を開始する予定（5/24 Ah）。
- ・ アンゴラは本年、関税を 30%から 50%へ増額する準備を進めつつある旨報道（5/20 AN）。
- ・ BNA は、5 月の金融政策委員会において、市中銀行における金利の参考値となる BNA 基礎利率 (Taxa BNA) を、年 10%のままで維持。インフレ率は先月の 9.1%から 9%に少々低下（5/28 BB）。
- ・ 5 月 31 日より、1000 クワンザ札、2000 クワンザ札、5000 クワンザ札の流通が開始。旧札は 2014 年 5 月 21 日に使用中止予定（5/31 JA）。

二国間関係

- ・ ポルトガル：ポルトガルの石油輸入における 23.7%はアンゴラからのもの（5/23 sol）。Mota Engil 社は、本年第一四半期に約 1100 万ドルのゴミ収集事業を実施（5/24 EX）。ホテルチェーン企業の Pestana グループは、2 億 8000 万ドルを投資し、アンゴラ市場へ参入予定（5/18 Sol）。飲料メーカーの Unicer 社は、今年中に工場建設を開始し、2015 年までの完工を目指す（5/21 Ah）。
- ・ ポーランド：アンゴラとポーランドは、二国間の投資および商業の増加を目的として、経済商業フォーラムをルアンダで実施。ポーランド企業はアンゴラの民間投資法に対し、満足している（5/8 JA）。二国間取引は 2009 年 1970 万ユーロ、2010 年 990 万ユーロ、2011 年 1090 万ユーロ、2012 年 1520 万ユーロと、2010 年に落ち込んだものの近年は回復中（5/17

EX)。

- ・ ノルウェー：企業は、石油セクター以外への投資を考えており、特に水・エネルギー分野に注目 (5/10 JE)。
- ・ トルコ：5月末にアンゴラ・トルコ企業間で会議が実施。トルコ側は鉄・鋼製品の輸出に関心 (5/23 SE)。
- ・ キューバ：アンゴラとキューバは鉱物資源分野での協力関係改善・拡大を意向 (5/20 Sol)。
- ・ 米国：米・アンゴラ関係 20 周年記念日に、両国は関係強化および拡張への意志を表明 (5/23 AN)。
- ・ スイス：スイス商業大臣はアンゴラを訪問し、物流システムに関する技術提供の関心を表明 (5/9 JA)。
- ・ 南アフリカ：2012 年、アンゴラから南アフリカへの旅行者は 4 万 8000 人で、前年に比べ 21.7%増加 (5/10 EX)。

エネルギー・水・通信

- ・ エネルギー・水大臣は、2013-17 年に 27 億クワンザをインフラに投資予定と表明 (5/17 EX)。
- ・ アンゴラは 2025 年までに電化率を現在の 30%から 60%まで増加させる予定 (5/23 SE)。
- ・ 政府は消費者による電力への支払方法をプリペイド方式に移行予定。現在の 80%の補助金をつける体制の維持は不可能と発言 (5/24 sol)。電力網設備会社の Resul 社は、プリペイド方式の実施による需要に向け、電力メーター (contadores de electricidade) の工場をアンゴラに建設準備 (5/23 JE)。
- ・ マランジェ州の新しい電力発電所は、今年中に稼働予定 (5/30 Ah)。
- ・ ナミベ州クネネ川における Baynes ダムの建設は、2015 年開始予定で、13 億 5000 万ドルの予算を計上 (5/16 Ah)。

インフラ・建設・物流

- ・ ルアンダのワールドトレードセンター建設は、第一フェーズを終了。プロジェクト完了時には、200 以上の企業が参入し、5000 人以上の雇用を創出予定 (5/10 EX)。また同センターは商業スペースの販売を開始 (5/10 JE)。
- ・ アンゴラ政府は、2017 年までに 280 万人以上に住居を提供する計画 (5/24 EX)。
- ・ 2009 年に始まったウイジェ州の空港再建工事は、次数ヶ月の間に完了予定 (5/24 EX)。
- ・ TAAG は、国際航空運送協会 (IATA) による 100%の推薦 (運営と安全についてより良い実施を意味する) を獲得 (5/23 Sol)。
- ・ 2017 年までに、政府は内戦中に破壊された 1500 の橋梁を復旧する予定 (5/13 Sol)。
- ・ アンゴラ政府は、Bromangol 社による輸入品を検査する試験所の独占を取り消すため、他の試験所にも市場を開放する議定書に署名。これにより手続の迅速化、価格下落が期待される (5/25 Sol)。
- ・ 巨大スーパーマーケットのチェーン店である KERO は、これまで 1 億ドルを投資し、現在 7 店舗を保有。来年までに、さらに 3 店舗設立する予定 (5/3 EX)。

農業・漁業

- ・ 第一四半期におけるアンゴラの輸入は、昨年同時期に比べ 6.87%増加。全体の 22.66%を占めるセメントは 17.76%増加。引き続き中国が主要な輸入相手先国 (5/8 JA)。
- ・ アンゴラ開発銀行は、ベンゲラ州における農業・加工産業の 13 プロジェクトに対し、3200 万ドルを融資 (5/24 JE)。
- ・ アンゴラは数年以内に、米の自給を達成し、輸入を必要としなくなる旨農業調査機関は言及 (5/7 AN)。
- ・ ウィジェ州では、アンゴラ開発銀行の融資を受け、数ヶ月以内に 3 つの牧畜業プロジェクトを開始予定 (5/3 EX)。
- ・ 政府は 65 億クワンザを投資し、農村地域における商品流通改善プロジェクトを実施予定 (5/24 EX)。

その他の産業・当地企業

- ・ 政府は次 5 年間で、活動休止中の国有企業 30 社を民営化する予定 (5/23 JA)。
- ・ ANIP は、総額 351 億 9679 万クワンザで 11 件の契約を締結。ホテル、建設等のセクター (5/17 JE)。
- ・ アンゴラは 9000 の企業を設立し、30 万の雇用を創出し、失業率を 20%前後まで下げる旨経済大臣は発表 (5/15 Sol)。
- ・ ソニーはアフリカの事業拡大を目指し、南アフリカを拠点として、今後さらにモロッコ、ガーナ、ケニア、ナイジェリア、アンゴラに地域センターを設立する予定 (5/17 EX)。
- ・ ベンゲラ州で国際見本市を実施。約 250 のブースが国内外の企業により展示。前年より 24 ブース増加 (5/23 SE)。
- ・ 6 月にジュネーブで開催されるアフリカ金融・投資フォーラムにアンゴラも ANIP、AIA 等から構成されるミッションで参加予定 (5/10 JE)。
- ・ コカコーラ社は、新たな生産ラインを導入するため、500 万ドルを投資 (5/10 JE)。
- ・ アンゴラ観光開発プログラムは、次 10 年間に、最低 460 万人の観光客がアンゴラを訪れる予定 (5/28 AP)。
- ・ ワイン、コーヒー、砂糖等を取り扱う AngoNabeiro 社は、毎月 200 万ドル以上の利益を計上 (5/30 SE)。
- ・ アンゴラにおける情報技術への投資は、今年 10%増加する見込み (5/30 Sol)。